

## 議会報告会報告書

開催日時	平成27年11月25日(水) 18時30分～20時00分				
開催場所	生涯学習センター(ミネルバ)2階 多目的ホール				
出席議員	赤松 通博	有元 純一	氏家 勉	宇野 俊市	大月 博光
	河崎 美都	北野 良介	小泉 馨	高原 良一	伊達 正晃
	渚 洋一	西淵 大助	浜 秋太郎	広畑 耕一	藤原 仁子
	藤原 行照	松田 達雄	三宅 一典	三宅 宅三	山本 育子
	(班 長)	———		(副班長)	———
	司会者	藤原 行照		報告者	(総務文教) 赤松 通博
	記録者	西淵 大助、山本 育子 藤原 仁子、宇野 俊市 大月 博光、伊達 正晃			(厚生) 三宅 宅三 (産業建設) 渚 洋一
参加人数	15人				
実施内容	総務文教委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館及び中央公民館の移転整備について</li> <li>・たまの創生総合戦略について</li> <li>・マイナンバーについて</li> </ul>			
	厚生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園について</li> <li>・第6期介護保険事業計画について</li> <li>・市民病院について</li> </ul>			
	産業建設委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉野街づくり(株)について(商業施設メルカについて)</li> <li>・鳥獣被害対策等について</li> <li>・住民基本計画について(主に空き家対策について)</li> <li>・ごみ処理広域化について</li> </ul>			

玉野市議会議長 殿

平成 28年 1月 25日

玉野市議会議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成27年度議会報告会 報告者 西淵大助



開催日時	平成27年11月25日(水) 18時30分～20時00分
開催場所	生涯学習センター(ミネルバ)2階 多目的ホール
主な意見 ・要望等	<p><b>Q1 玉野市の財政は、2～3年で破綻するのではないのか？</b></p> <p><b>対応</b> このままでは大変厳しい状況になっていくが、執行部・職員・議員が一丸となって、財政健全化に向けて協議を重ねている。</p> <p><b>Q2 5年前に市民病院の会議があったが、その時に、医師・看護師の高給や入院日数が14日しかあずかれないと言っていた。岡大を頼りにすべきなのに、徳島県の医療法人で大丈夫なのか？</b></p> <p><b>対応</b> 市民病院は資金不足となっているが、累積赤字の38億円は減価償却分を含んでいる。入院日数は急性期病院では20日までというぐくりはあるが、市民病院にはない。徳島県の医療法人に運営を任せることになっても、岡大との関係は変わらない。</p> <p><b>Q3 産婦人科がなくなり、私の息子は子育てができないと岡山市へ転居をした。市民病院は機能をしていると言えるのか？議員はどのように考えているのか？</b></p> <p><b>対応</b> 産婦人科の再開は要望している。小児科で入院ができるのは市民病院のみとなっており、市民の医療確保の意味からも、議会として市民病院は必要と考えている。</p> <p style="text-align: center;">※ 報告内容に関連した質問のみ記載しています。</p>

## 議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成27年11月30日(月) 18時30分～20時15分				
開催場所	日の出ふれあい会館 1階 コミュニティ会議室				
出席議員	赤松 通博	有元 純一	氏 家 勉	宇野 俊市	大月 博光
	河崎 美都	北野 良介	小泉 馨	高原 良一	伊達 正晃
	渚 洋 一	西淵 大助	浜 秋太郎	広畑 耕一	藤原 仁子
	藤原 行照	松田 達雄	三宅 一典	三宅 宅三	山本 育子
	(班 長)	——		(副班長)	——
	司会者	藤原 行照		報告者	(総務文教) 赤松 通博
	記録者	西淵 大助、山本 育子 藤原 仁子、宇野 俊市 大月 博光、伊達 正晃			(厚生) 三宅 宅三 (産業建設) 渚 洋 一
参加人数	45人				
実施内容	総務文教委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館及び中央公民館の移転整備について</li> <li>・たまの創生総合戦略について</li> <li>・マイナンバーについて</li> </ul>			
	厚生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園について</li> <li>・第6期介護保険事業計画について</li> <li>・市民病院について</li> </ul>			
	産業建設委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉野街づくり(株)について(商業施設メルカについて)</li> <li>・鳥獣被害対策等について</li> <li>・住民基本計画について(主に空き家対策について)</li> <li>・ごみ処理広域化について</li> </ul>			

玉野市議会議長 殿

平成 28年 1月 25日

玉野市議会議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成27年度議会報告会 報告者 西淵大助



開催日時	平成27年11月30日（月） 18時30分～20時15分
開催場所	日の出ふれあい会館 1階 コミュニティ会議室
主な意見 ・要望等	<p><b>Q1</b> 海老名市の図書館を TRC と CCC が共同で運営しているが、選書や分類等の問題が生じている。玉野市が指定管理とした TRC が全国的な問題となっているが、同様の手法では玉野市にも混乱が生じる。市に説明はあったのか？市ではどのような選書をするのか？</p> <p><b>対応</b> TRC からは、選書の問題等については CCC と考え方が合わないもので、今後は関係をもたず、TRC の手法で運営するので安心してほしいと説明があった。議会からは、市民の意見を運用面に関しても取り入れるように要望をし、快諾を得ている。</p> <p><b>Q2</b> 図書館の指定管理は反対である。従来の公営で問題があったのか？今回の設計は公民館と図書館が混在しているが、役割が違うので分けるべきではないか？メルカへの移転やホールがなくなることについて、市民の意見を十分に聞いたのか？</p> <p><b>対応</b> 指定管理での運営については、指定管理者が突然撤退した場合なども含め、かなりの時間を費やし協議を行い決定した。現在の図書館は3階にあり、高齢者・障がい者は上がりにくい。移転により、開架図書の問題等、今まで以上に有意義になる。議会は、レイアウトについて静粛性・安全性等も考慮して議論を行い、市民の意見も伝え改善した。</p> <p><b>Q3</b> 介護保険を支援する項目ばかりだが、もっと介護にならないよう考えるべきではないか。介護認定について疑問があり、ピクニックに行くような気分でデイケアに行っているがどうなのか？健康体操に力を入れている自治体では、介護保険料が75%ですんでいる。このような取り組みをするべきではないか？</p> <p><b>対応</b> 元気な人が介護認定を受けているのでないかということだが、専門の方が定められた基準で認定している。健康体操に変わるものとして、百歳体操を行い支持され</p>

開催日時	平成27年11月30日（月） 18時30分～20時15分
開催場所	日の出ふれあい会館 1階 コミュニティ会議室
主な意見 ・要望等	<p>ている。支援を受けている方も参加できるように、サロン事業等にも取り組んでいる。</p> <p><b>Q4 市民病院は、すでに役割を終えている。市民の7割が必要としているなら仕方がないが、アンケートについても、きちんと財政赤字等について述べてからとっているのか。現状を知ったら違う結論になるのではないか？</b></p> <p><b>対応</b> アンケートの中では、市民病院が必要だというほうが多くある。岡山で改築されている大きな病院は急性期病院で20日というくくりがあるが、市民病院にはないため、急性期治療を受けた後、市民病院に入院していただく等、市民の安心のために必要と考えている。</p> <p><b>Q5 平成博愛会が来年度に市民説明会を開くと聞いているが、その前に市民病院の必要性について市民に問うべきではないか？市民は市民病院の30億の赤字についてやっと知った所で、市内の地域によっては市民病院について考えが違う。赤字に危機感を持っていない人のアンケートを重視しても乖離しているのか？</b></p> <p><b>対応</b> 26年度末で38億円の赤字となっているが、減価償却部分を含んでいる。平成19年より経営改善に取り組んできたが効果が見られず、医療コンサルも運営方法を見直すべきとの調査報告があり、現在（平成27年11月30日）徳島の平成博愛会を指定管理者とするべきか、選定委員会で審議中となっている。平成博愛会には、議会としても診療科や医師の関係等、適切な医療の体制づくりを申し入れしている。入院患者の地域までは調査を行っていない。</p>

開催日時	平成27年11月30日(月) 18時30分～20時15分
開催場所	日の出ふれあい会館 1階 コミュニティ会議室
主な意見 ・要望等	<p><b>Q6 介護認定や医療負担について、数字をあげて示すべきではないか。市民病院の今後の方向性については、救急医療を重視して受け入れを断ることがないようにするのか、産婦人科を重視するのか方向性は？</b></p> <p><b>対応</b> 医療保険の利用者と金額については、資料を持ち合わせていないため答えられないが、介護保険料については、高齢化率35%で64,000人の人口に対して22,000人の高齢者となっており、そのうち要支援、要介護の方は約4,800人となっている。保険料は第5期5,100円であったものが、第6期では6,000円となったが、区分を<u>9段階から11段階に増やし、低所得者層にも配慮したものとした(※1)</u>。市民病院の方向性については、救急医療に力を入れていきたいと思っている。産婦人科についても、再開して診療科も現状を維持するように要望している。</p> <p>(※1)一定以上の所得がある人の負担割合を高めることにより基準額を抑えたことを意味する。</p> <p><b>Q7 介護保険料が、80万円の上下で一万円も違う。国民健康保険は黒字だと聞かすが、この黒字分を介護保険にまわせないのか。</b></p> <p><b>対応</b> 制度が異なるため、黒字の配分は難しい。11段階の区分の中で、<u>市民税非課税で80万円を超える(※2)</u>5段階目の方を基準額として、世帯状況や所得により0.45倍から2.00倍まで負担割合を細かく設定している。消費税増税に伴い、第1段階から第3段階の方へ負担軽減を図る予定となっている。</p> <p>(※2)「市民税本人非課税者かつ世帯課税者で、本人の課税年金収入額と合計所得金額(マイナスの場合はゼロとみなす)の合計が80万円を超える方」ということを意味する。</p> <p style="text-align: center;">※報告内容に関連した質問のみ記載しています。</p>